

脳研

第56回 新潟神経学

会場

新潟大学脳研究所
新潟市中央区旭町通一番町757

主催

新潟大学脳研究所
新潟脳神経研究会

参加費
無料

見学・体験コース参加の学生対象

希望者には
旅費を支給します

若干名・先着順



2026

8.27 木

13:00
18:00

2026

8.28 金

2026

8.27木 講演会

(会場：中田記念ホール)

第56回
新潟神経学

13:00 - 13:30 ヒト剖検脳トランスクリプトーム解析から探る神経変性疾患病態

新潟大脳研 他田 真理 先生

13:30 - 14:00 進化ゲノミクスで脳の病気の起源を知る

新潟大脳研 吉田 恒太 先生

14:00 - 14:30 脳の活力を支える脳血管：その老化のメカニズムから紐解く恒常性維持に向けた研究

新潟大脳研 加藤 泰介 先生

休憩

14:45 - 15:15 非ヒト霊長類にみられる人間らしい脳機能の痕跡

新潟大医学部 長谷川 功 先生

15:15 - 16:00 質量分析イメージングの基礎と応用 ―脳サンプルを例にして―

大阪大学 新聞 秀一 先生

休憩

16:15 - 17:00 比較生物学で解き明かす睡眠の機序、機能、そして起源

筑波大学 史 蕭逸 先生

17:00 - 17:45 未踏の脳領域『前障 Claustrum』の機能解明へ向けて

理研CBS 吉原 良浩 先生

17:45 - 18:00 閉会

18:30 - 意見交換会

2026

8.28金 見学・体験コース

(会場：各研究室)

※開始時刻および終了時刻は参加コースにより異なります。

1 脳腫瘍に対する新しい治療法の実践
～近赤外光線免疫療法～

脳神経外科学分野・腫瘍病態学分野 定員5名

近赤外光線免疫療法は、腫瘍細胞の表面抗原を標的とした新しい治療法であります。治療が難しい様々な脳腫瘍に対して表面抗原特異的抗体を用いて、細胞膜に穴をあけて腫瘍細胞を破裂させます。ダイナミックな治療効果を見学したら、きっと魅了されるはずです。

2 ヒト剖検脳の病理解析の実際

病理学分野・脳資源科学分野 定員5名

ひとの手術材料や剖検脳を対象に病理学的診断や研究を行う様子をご紹介します。

3 認知症原因遺伝子のゲノム解析

遺伝子機能解析学分野 定員5名

ゲノムDNAを用いて、認知症の原因遺伝子に変異があるかどうかを調べます。

4 老化と脳の疾患を
多様な生物モデルで解明する

脳病態解析分野 定員8名

細胞、魚からヒトの脳まで、多様な生物モデルを見学し、老化や脳の研究の実際を体験します。

5 ゲノムの進化から探る病気の起源

進化脳ゲノミクス分野 定員5名

様々な生物のゲノムを比較して「病気の遺伝子がどうやって進化してきたのか」を調べる研究を体験します。

6 遺伝子改変マウスの作製と解析

動物資源開発研究分野・モデル動物開発分野 定員6名

マウスの卵子や精子を実際に用いて、体外受精や遺伝子改変マウスの作製を模擬体験します。

7 脳の神経回路の標識と可視化

システム脳修復学分野 定員6名

マウスをモデルに、脳や脊髄をつなぐ神経のネットワークがどのように接続して機能しているのかを観察します。

イベント詳細・参加申込は
脳研ウェブサイトから >>>

申込
締切

8月14日(金)


<https://www.bri.niigata-u.ac.jp/events/seminar/002450.html>